

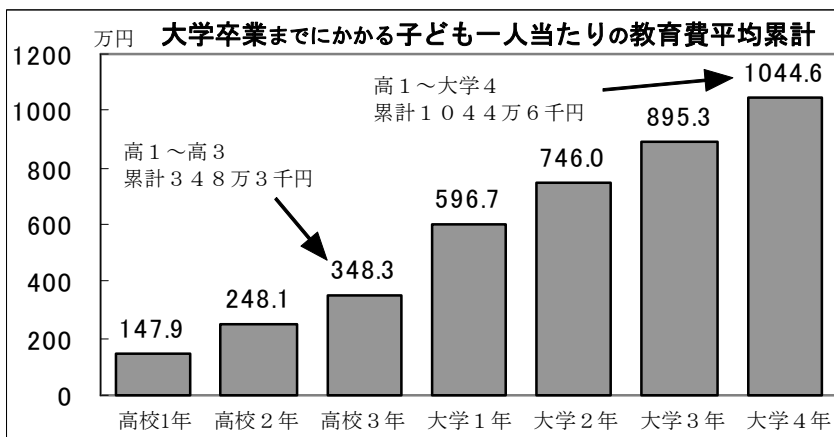
なかつか 亮



区議会定例会 なかつか亮「一般質問」を報告します

高すぎる高校・大学の学費

学費値下げ、奨学金充実で「教育の機会均等」を！！



(国民生活金融公庫総合研究所「教育費負担の実態調査」07年10月より)

6月中旬から開催された第2回区議会定例会において、初日になかつか亮が取り上げた一般質問のうち、今回は「学費」について質問及び区の答弁を報告します。本会議は品川ケーブルテレビ(5Ch)で放映され、近所の方から「この前のテレビ見たよ。学費は高すぎ、おかしいよ。がんばってね」と声をかけられました。ご意見、ご要望などございましたら、お気軽にご連絡下さい。

7年間で 1045万円

4月、高校・大学進学と胸躍る生徒や学生に暗い影を落としているのは高すぎる学費です。上のグラフは高1から大学4年までの全国の平均教育費。7年間で1045万円(入学費用と在学費用の合計)が家計にズッシリとかがります。私は、経済的な理由で学ぶ機会を奪い、子どもの未

来を奪うことが許せません。

だれもお金の心配なく教育を受けられる条件を整備し、困難な中でもまじめに学ぼうとしている若者の努力に答えることは、日本の安定した基盤作りに欠かせません。

高すぎる学費の値下げと品川区奨学金の充実を求め、本会議で取り上げました。

裏へ

高すぎる高校・大学の学費

奨学金制度の充実で支援を

高校は都立に

私は都立田園調布高校3年生に話を伺いました。

A君は「中学生の時からプロ野球のヒーローインタビューで海外選手について通訳という仕事にあてがわれていた。高校は語学留学もできる私立に行きたかったが、お金がかかるので都立に。来年は大学に行きたいが、今度は親から浪人生活をさせるお金はないから、現役入

学でなければあきらめてほしいと言われた」と話します。

また、今年4月に早稲田大学に入学したBさんは「週4のバイト生活。これでは学業よりバイト優先の生活になってしま

う」と話します。

教育の機会均等

私はお金がないという理由で、高校の進路が狭められ、たとえ奨学金を受けて大学に行ってもバイト漬けの学生生活を強いられるなど、憲法、教育基本法で保障されている教育の機会均等が奪われている実態を見過ごす事はできません。コーロッ

パでは高校や大学の授業料無料が主流であること

も紹介し、濱野区長に対して、国に対し学費値下げを働きかけること、区奨学金の充実などを提案しました。

濱野区長の答弁

濱野区長は「日本の大学への進学率は高まっている。それだけ教育を受ける機会が増えているということ」と述べ、高い学費が若者の学ぶ機会を奪っている実態を認めず、むしろ学ぶ機会を広がっているとの認識を示しました。奨学金については「学校に必要な額を全て奨学金でまかなう考えは

無い」と答弁しました。

私は区長の答弁は、区民の実態とも願いたいと思いつけ離れていると思います。引き続き、学費値下げ、奨学金充実に向けがんばります。なかつか亮

条例や署名の審査などは次号以降に掲載します。

『気軽な町の無料法律相談会』

7月11日(金) 午後6時～8時
会場：日本共産党なかつか亮事務所
事務所 3773-3231



19日のなかつか亮の本会議質問の様子。

滝王子通り拡幅問題 品川区説明会が行われます

- 1回目：7月13日(日) 午前10時～
- 2回目：7月15日(火) 午後7時～
- 伊藤学園(旧伊藤中) 3階視聴覚室

■ 主催

品川区まちづくり事業部都市開発課

■ 内容

- ・建替え助成やまちづくりルール
- ・アンケート調査の目的など

是非、ご参加を